

# 所沢市マネジメント方針

## 基本理念

所沢市は、首都近郊都市として高い利便性を有する一方、武蔵野の面影を残す雑木林や狭山丘陵、江戸時代から続く三富新田を始めとする農耕地など、歴史と文化に育まれた豊かなみどりに恵まれ、この自然と都市機能が調和した快適な環境は本市の大きな魅力となっています。

大震災を経て、時代は新たな局面にうつりました。私たちは、「大震災後の進むべき道」を常に意識し、子どもたちにどんな未来を残すのか、継承を意識して「今」を歩んでいかなければなりません。

「動け！所沢 紡ごう！絆」 人と人の絆、人と自然との関係を紡ぎなおすために、一人ひとりが動くときです。所沢市は、「実践」をこそ尊重し、「絆、自然、文化 元氣あふれる『よきふるさと所沢』」の実現を目指します。

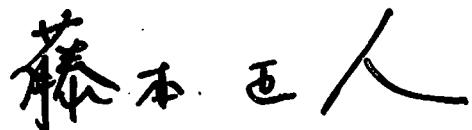
## 基本方針

所沢市は、基本理念のもと、合理的かつ効果的な市政運営を進めるとともに、環境の保全と創造に向け、市政運営全体を環境配慮型とし、次に掲げる事項を基本として行政運営を行います。

- (1) 「未来（あす）を見つめ、今を動く」気概を持ち、目標実現に向け、高い意欲を持って業務を遂行します。「今何をするべきか」の視点を持ちながら、仕組みの改善や見直しを図ります。
- (2) 地球環境の持続の観点から、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」の理念を全ての施策に反映します。また「もったいないの心」を大切に、エネルギーの自立を目指すとともに、環境保全に関する取り組みを推進し、様々な施策を展開します。
- (3) ものの豊かさから心の豊かさへ。人と人の絆、ツナがりを実感できる社会づくりを進めます。施策の立案では、人間が本来もつ「人間力」が発揮される社会へ近づくよう吟味し、人を中心としたマチづくりを進めます。そして、澄んだ水、緑豊かな「ふるさと所沢」を、未来を担う子どもたちに引き継ぎます。
- (4) 公務員は市民のためにある、というプライドで、機をみて敏に、職員は120%の力とチームワークを発揮します。新しい視点や若い熱意を積極的に取り入れ、失敗を恐れず、主体的・自主的にチャレンジします。

令和3年3月1日

所沢市長



※この方針は、令和3年4月1日「令和3年度所沢市マネジメントシステム（TMS）推進指針」施行の日から適用します。